



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社 小糸製作所
 コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 弘志
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小長谷 秀治

TEL 03-3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	640,701	6.2	74,344	16.9	78,879	19.5	47,517	19.0
29年3月期第3四半期	603,143	1.2	63,581	14.3	66,009	14.1	39,938	34.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 65,502百万円 (32.6%) 29年3月期第3四半期 49,405百万円 (118.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	295.65	295.55
29年3月期第3四半期	248.54	248.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	643,737	418,233	59.5	2,383.34
29年3月期	658,341	381,000	51.0	2,090.87

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 383,078百万円 29年3月期 335,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		34.00	54.00
30年3月期		36.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	0.2	100,000	8.1	104,000	9.1	74,000	30.5	460.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) コイト・マレーシア・エス・
 ディ・エヌ・ピー・エッチ・ディ 、 除外 1 社 (社名) 上海小糸車灯有限公司

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	160,789,436 株	29年3月期	160,789,436 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	58,054 株	29年3月期	95,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	160,718,843 株	29年3月期3Q	160,693,751 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

(参考) 平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	339,000	13.8	37,000	26.5	55,000	20.3	56,000	80.0	348	41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、雇用環境改善を背景に個人消費が持ち直し、設備投資や輸出も増加したことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界においては、米国・欧州経済が比較的堅調、中国の成長鈍化、保護主義的政策への懸念や地政学的リスク等はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、登録車の新車効果や軽自動車の販売回復等により、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。海外では、米国が減産のなか、中国・アジア・欧州の需要増等により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、新規受注の拡大、自動車ランプのLED化進展等に伴い、主力の自動車照明関連事業が増収となり、前年同期比6.2%増の6,407億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日本〕

自動車生産台数が増加するなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比14.3%増の2,624億円となりました。

〔北米〕

自動車生産台数は減少したものの、新規受注の拡大やLED化進展により、売上高は前年同期比1.3%増の1,374億円となりました。

〔中国〕

自動車生産台数の小型車減税効果に伴う増加や新規受注の拡大はあるものの、平成29年9月28日より上海小糸車灯有限公司（以下、「上海小糸社」といいます。）を持分法適用会社とした影響から、売上高は前年同期比10.6%減の1,392億円となりました。

〔アジア〕

自動車生産台数が増加するなか、インドやタイ、インドネシアにおける新規受注の拡大、二輪車ランプのLED化進展等により、売上高は前年同期比16.3%増の695億円となりました。

〔欧州〕

自動車生産は堅調に推移、新規受注の拡大やLED化進展により、売上高は前年同期比44.3%増の320億円となりました。

〔その他〕

前期より、ブラジル生産子会社設立に伴いセグメント情報の区分に「その他」を追加しております。なお、ブラジル子会社は平成30年5月生産開始予定です。

利益につきましては、上記売上増の効果に加え、国内外における改善合理化を推進したことにより、営業利益は前年同期比16.9%増の743億円、経常利益は前年同期比19.5%増の788億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19.0%増の475億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、現金及び預金が増加するなか、上海小糸社を持分法適用会社としたことに伴い、投資有価証券が増加、一方で受取手形及び売掛金など流動資産が減少したこと等により、前期末に比べ146億円減少の6,437億円となりました。

負債の残高は、上海小糸社を持分法適用会社としたことに伴い、支払手形及び買掛金などが減少したこと等により、前期末に比べ518億円減少の2,255億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金が増加したこと等から、前期末に比べ372億円増加の4,182億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益768億円、減価償却費237億円を主体に993億円となり、法人税等を支払った結果、736億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資309億円、及び定期預金の預入等を実施した結果、445億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済8億円、配当金等の支払い152億円等を実施した結果、160億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、上海小糸社を持分法適用会社としたことによる減少額とあわせて、前期末に比べ49億円増加の444億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内外における新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展が見込まれるものの、平成29年9月28日より上海小糸社を持分法適用会社とした影響から、前期比減収の予想であります。

利益につきましては、売上高と同様、上海小糸社の影響はありますが、国内外における改善合理化等により、営業利益、経常利益は前期比増益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては上海小糸社の持分譲渡に伴う譲渡益を特別利益として計上することもあり前期比増益の見通しであります。

なお、平成29年10月26日の第2四半期決算短信にて公表いたしました平成30年3月期通期の業績予想（連結・個別）は以下の通り修正しております。

平成30年3月期 通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	822,000	97,000	100,000	71,000	441 73
今回予想（B）	840,000	100,000	104,000	74,000	460 40
増減額（B－A）	18,000	3,000	4,000	3,000	—
増減率（%）	2.2	3.1	4.0	4.2	—
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	841,456	92,523	95,336	56,692	352 80

（参考）平成30年3月期 通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	335,000	37,000	55,000	56,000	348 41
今回予想（B）	339,000	37,000	55,000	56,000	348 41
増減額（B－A）	4,000	—	—	—	—
増減率（%）	1.2	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	297,786	29,260	45,729	31,102	193 55

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,956	226,821
受取手形及び売掛金	136,251	106,419
電子記録債権	11,589	13,261
たな卸資産	66,332	62,674
繰延税金資産	4,558	659
その他	36,035	24,347
貸倒引当金	△843	△490
流動資産合計	460,880	433,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,829	38,556
機械装置及び運搬具（純額）	55,911	52,892
工具、器具及び備品（純額）	18,768	13,776
土地	14,718	15,018
建設仮勘定	9,310	15,677
有形固定資産合計	141,538	135,922
無形固定資産	1,985	2,249
投資その他の資産		
投資有価証券	46,889	66,237
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	5,522	4,064
その他	1,768	1,804
貸倒引当金	△302	△293
投資その他の資産合計	53,937	71,872
固定資産合計	197,460	210,043
資産合計	658,341	643,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,126	89,536
電子記録債務	16,366	15,237
短期借入金	21,885	14,408
未払費用	18,269	24,081
未払法人税等	15,122	9,155
賞与引当金	5,767	2,304
製品保証引当金	3,070	2,497
訴訟損失引当金	3,393	—
その他	11,987	13,523
流動負債合計	222,989	170,744
固定負債		
長期借入金	13,172	13,448
繰延税金負債	6,516	6,733
役員退職慰労引当金	363	407
製品保証引当金	5,201	5,034
環境対策引当金	193	193
退職給付に係る負債	26,838	26,612
その他	2,066	2,328
固定負債合計	54,351	54,759
負債合計	277,340	225,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,107	17,281
利益剰余金	278,755	315,022
自己株式	△87	△54
株主資本合計	310,045	346,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,562	26,675
為替換算調整勘定	4,572	10,252
退職給付に係る調整累計額	△192	△371
その他の包括利益累計額合計	25,942	36,557
新株予約権	291	245
非支配株主持分	44,719	34,910
純資産合計	381,000	418,233
負債純資産合計	658,341	643,737

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	603,143	640,701
売上原価	497,864	523,701
売上総利益	105,278	116,999
販売費及び一般管理費	41,696	42,655
営業利益	63,581	74,344
営業外収益		
受取利息	554	765
受取配当金	1,285	1,206
持分法による投資利益	20	794
為替差益	190	179
その他	1,351	2,615
営業外収益合計	3,401	5,561
営業外費用		
支払利息	712	722
その他	260	304
営業外費用合計	973	1,026
経常利益	66,009	78,879
特別利益		
固定資産売却益	31	31
投資有価証券売却益	41	0
特別利益合計	73	31
特別損失		
固定資産除売却損	268	361
減損損失	—	156
災害損失	985	—
投資有価証券評価損	32	—
独禁法関連損失	—	1,575
特別損失合計	1,287	2,093
税金等調整前四半期純利益	64,796	76,817
法人税、住民税及び事業税	17,772	18,439
法人税等調整額	1,252	4,365
法人税等合計	19,024	22,805
四半期純利益	45,771	54,012
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,938	47,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,833	6,495

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,584	5,433
為替換算調整勘定	△822	5,318
退職給付に係る調整額	△128	△165
持分法適用会社に対する持分相当額	—	904
その他の包括利益合計	3,633	11,490
四半期包括利益	49,405	65,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,061	58,131
非支配株主に係る四半期包括利益	5,344	7,371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	64,796	76,817
減価償却費	22,732	23,761
減損損失	—	156
株式報酬費用	—	96
持分法による投資損益(△は益)	△20	△794
貸倒引当金の増減額(△は減少)	115	△356
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△587	△499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,060	△2,958
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△208	△740
受取利息及び受取配当金	△1,839	△1,971
支払利息	712	722
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△41	△0
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	32	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	236	330
独禁法関連損失	—	1,575
災害損失	985	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,604	6,095
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,235	△6,496
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,732	119
仕入債務の増減額(△は減少)	14,244	△3,753
未払費用の増減額(△は減少)	397	4,881
その他	919	2,389
小計	88,050	99,374
利息及び配当金の受取額	1,839	1,971
利息の支払額	△712	△722
独禁法関連損失の支払額	—	△4,999
災害損失の支払額	△414	—
法人税等の支払額	△17,130	△21,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,633	73,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△95,785	△129,506
定期預金の払戻による収入	88,124	115,779
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△15	△54
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	460	38
有形固定資産の取得による支出	△27,673	△30,994
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	143	141
貸付けによる支出	△5	△1
貸付金の回収による収入	11	9
その他	453	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,287	△44,521

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,267	△885
長期借入れによる収入	1,474	1,976
長期借入金の返済による支出	△573	△1,917
自己株式の取得による支出	△0	△1
ストックオプションの行使による収入	-	0
親会社による配当金の支払額	△6,167	△10,795
非支配株主への配当金の支払額	△3,966	△4,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,499	△16,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△884	1,468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,963	14,550
現金及び現金同等物の期首残高	31,886	39,500
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△9,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,849	44,425

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社は、平成29年9月28日開催の取締役会において、当社の連結子会社である上海小糸車灯有限公司の当社持分全てを譲渡すること、及びこの持分譲渡に伴い、当該子会社との間における現行生産品の取扱いにかかる契約を、従来に比して、より限定的な内容の技術に関する契約に変更し締結することを決議し、同日、締結いたしました。当該契約締結に伴い、当社の上海小糸車灯有限公司に対する実質的な支配力が無くなったため、第2四半期連結会計期間末より、連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、コイト・マレーシア・エス・ディ・エヌ・ビィ・エッチ・ディを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	229,723	135,718	155,773	59,742	22,184	—	603,143	—	603,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,154	13	3,463	5,684	1,211	—	135,528	(135,528)	—
計	354,878	135,732	159,237	65,427	23,395	—	738,671	(135,528)	603,143
セグメント利益又は損失(△)	29,795	13,707	11,243	6,322	2,621	△11	63,680	(98)	63,581

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△98百万円には、セグメント間取引消去3,905百万円及び配賦不能営業費用△4,004百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	262,477	137,417	139,286	69,502	32,015	3	640,701	—	640,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,567	18	2,480	6,260	1,064	—	159,390	(159,390)	—
計	412,044	137,435	141,766	75,762	33,079	3	800,092	(159,390)	640,701
セグメント利益又は損失(△)	39,523	12,954	11,406	7,444	3,426	△300	74,455	(110)	74,344

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△110百万円には、セグメント間取引消去4,407百万円及び配賦不能営業費用△4,518百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3) 欧州 …英国、チェコ

(4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。